

平成 21 年度 落葉果樹関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成 21 年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成 22 年 2 月 1 日(月)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者 42 名、委託関係者 21 名ほか、計 75 名の参集を得て、除草剤 1 薬剤(4 点)、生育調

節剤 9 薬剤(76 点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成 21 年度 落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

注)フタライは新たに判定された部分

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容
1. AH-01液 クハホシネートPナトリウム塩 :11.5% [明治製菓、北興化学]	ブドウ	適用性 継続	富山農技果試 (シャイマスカット) 愛知農総試園研 (瀬戸シャイアンツ) (2)	[多年生雑草、スギナ] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・750mL<100, 150> 1000mL<100> ・茎葉処理 ・展着剤不要 対)ハスダ液 750mL<100>	実	実) [ブドウ: 一年生雑草、多年 生雑草、スギナ] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈 30cm 以下) ・一年生雑草対象; 300～500mL/10a <100～150L/10a> 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <100～150L/10a> スギナ対象; 750～1000mL/10a <100～150L/10a> ・茎葉処理
	キイチ フルーツ	適用性 継続	千葉大園芸 (ハイワート) 愛媛果試(アツル) (2)	[多年生雑草、スギナ] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・750mL<100, 150> 1000mL<100> ・茎葉処理 ・展着剤不要 対)ハスダ液 750mL<100>	実	実) [キイチフルーツ: 一年生雑草、多 年生雑草、スギナ] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈 30cm 以下) ・一年生雑草対象; 300～500mL/10a <100～150L/10a> 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <100～150L/10a> スギナ対象; 750～1000mL/10a <100～150L/10a> ・茎葉処理

B. 生育調節剤

(注)アザライトは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. AF-3くん蒸成型 1-メチルシクロプロペン: 6.28mg/g (1錠 1.25gに7.85mg a.i含有) [三井物産、 アザライト株式会社]	ナシ (幸水)	適用性 新規	茨城園研 (1)	[貯蔵性向上] ・ 収穫当日(24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 1000ppb(1個/3.5m ³) ・ 製剤から発生する気体に密閉条件 で12時間以上暴露 処理方法) ・ 果実を収穫用コンテナまたは出荷用箱 に入れる→収穫用コンテナまたは出荷 用箱ごと、バレットtent(容積3.5m ³)に 入れ、所定量の製剤を置く→直ちに 密閉し12時間以上静置(暴露処理) →開封する→収穫用コンテナまたは出 荷箱に入れたまま室温で保存	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ナシ (豊水)	適用性 新規	三重農研 (1)	[貯蔵性向上] ・ 収穫当日(24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 1000ppb(1個/3.5m ³) ・ 製剤から発生する気体に密閉条件 で12時間以上暴露 処理方法) ・ 果実を収穫用コンテナまたは出荷用箱 に入れる→収穫用コンテナまたは出荷 用箱ごと、バレットtent(容積3.5m ³)に 入れ、所定量の製剤を置く→直ちに 密閉し12時間以上静置(暴露処理) →開封する→収穫用コンテナまたは出 荷箱に入れたまま室温で保存		
	ナシ (富有)	適用性 新規	岐阜農技 三重農研 (2)	[貯蔵性向上] ・ 収穫当日(24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 500ppb(1個/7.0m ³) ・ 製剤から発生する気体に密閉条件 で12時間以上暴露 処理方法) ・ 果実を収穫用コンテナまたは出荷用箱 に入れる→収穫用コンテナまたは出荷 用箱ごと、バレットtent(容積7.0m ³)に 入れ、所定量の製剤を置く→直ちに 密閉し12時間以上静置(暴露処理) →開封する→収穫用コンテナまたは出 荷箱に入れたまま室温で保存	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ナシ (前川 次郎)	適用性 自主	三重農研 (1)	[貯蔵性向上] ・ 収穫当日(24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 500ppb(1個/7.0m ³) ・ 製剤から発生する気体に密閉条件 で12時間以上暴露 処理方法) ・ 果実を収穫用コンテナまたは出荷用箱 に入れる→収穫用コンテナまたは出荷 用箱ごと、バレットtent(容積7.0m ³)に 入れ、所定量の製剤を置く→直ちに 密閉し12時間以上静置(暴露処理) →開封する→収穫用コンテナまたは出 荷箱に入れたまま室温で保存		

B. 生育調節剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
2. AKD-8152水溶 1-ナフタレン酢酸ナトリウム 4.4% [アグロカネショウ]	西洋ナシ	適用性 継続	新潟農総研園研 (ル・レクチエ) (1)	[収穫前落果防止] (1回処理) ・ 収穫開始予定21~7日前 ・ 2000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 (反復処理; 2回) ・ 1回目: 収穫開始予定21~14日前→2 回目: 1回目処理7~10日後 ・ 2000倍→2000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布	実	実) [西洋ナシ(ル・レクチエ): 収穫前 落果防止] ・ 収穫開始予定日の 21~7 日 前 2000 倍 <200~300L/10a> 1 回散布 立木全面散布 ・ 収穫開始予定日の 21~14 日前及びその 7~10 日後 2000 倍 <200~300L/10a> 2 回散布 立木全面散布
3. CX-10液 シナリト: 10% [日本カーバート工業]	モモ	適用性 継続	<山梨果試> <和歌山かきもも研> <岡山農試> <香川農試府中> (4)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期(12月末、1月末) ・ 10, 15, 20倍 ・ 散布	実・ 継	実) [モモ: 休眠打破による発芽 促進] ・ 休眠期 ・ 15~20倍(十分量) ・ 散布 注) ・ 花芽が枯死する被害を生じ る事がある
	モモ	適用性 継続 (H2O)	山梨果試 (露地; 白鳳) (加温; 日川白鳳) 和歌山かきもも研 (日川白鳳) 岡山農試(白鳳) 香川農試府中 (あかつき) (4)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期(11~2月) ・ 10, 15, 20倍 ・ 散布		継) ・ 処理時期、処理濃度と被害 の関係について
4. KT-30S液 ホルクワロフェニロン0.1% [協和発酵バイオ]	フットウ (オーロラ ブラック)	適用性 継続	岡山農試 (1)	[花穂の発育促進] ・ 展葉6~8枚時 ・ 1, 2ppm ・ 花房散布	実・ 継	実) [フットウ(巨峰、シャインマスカット、 ピオーネ、オーロラブラック、瀬戸 シャインワ、マスカットオブアレキ サンドリア) 花穂の発育促進] ・ 展葉6~8枚時 ・ 1~2ppm 1回 ・ 花房散布
	フットウ (巨峰)	適用性 継続	山梨果試 長野果試 (2)	[花穂の発育促進] ・ 展葉6~8枚時 ・ 1, 2ppm ・ 花房散布		継) ・ 年次変動の確認 (オーロラブラック、瀬戸シャインワ、マ スカットオブアレキサンドリア)
	フットウ (シャイン マスカット)	適用性 継続	山梨果試 長野果試 島根農技 岡山農試 (4)	[花穂の発育促進] ・ 展葉6~8枚時 ・ 1, 2ppm ・ 花房散布		
	フットウ (瀬戸 シャイン ワ)	適用性 継続	岡山農試 (1)	[花穂の発育促進] ・ 展葉6~8枚時 ・ 1, 2ppm ・ 花房散布		
	フットウ (ピオー ネ)	適用性 継続	山梨果試 (露地、加温) 岡山農試 広島農技 (4)	[花穂の発育促進] ・ 展葉6~8枚時 ・ 1, 2ppm ・ 花房散布		
	フットウ (マスカット オブアレキ サントリア)	適用性 継続	岡山農試 (1)	[花穂の発育促進] ・ 展葉6~8枚時 ・ 1, 2ppm ・ 花房散布		

B. 生育調節剤

(注)アガライは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
KT-30S液つづき	ブルーベリー	適用性 継続	青森県試果南 (ノースランド) 秋田県試鹿角 (ブルーアップ) 奈良県樹振興 (ティップル) 山口県試 (シャープブルー) (4)	[果実肥大促進] ・ 落弁期→落弁期7日後 (2回処理) ①5ppm→5ppm ②10ppm→10ppm ③20ppm→20ppm ・ 果そう散布 (枝別処理)	継	継) ・ 効果、薬害の確認
5. KUH-833Pヘー-スト+ ジベレリンヘー-スト プロヘキサジオンカルシウム塩 1%+ジベレリン 2.7% [クマヤ化学工業]	日本ナシ (幸水)	適用性 継続	熊本農研果樹 (1)	[果実肥大促進] ・ 満開30~40日後 KUH-833P + ジベレリンヘー-スト; 20-30mg+20-30mg 果梗部塗布 対照区) 満開30~40日後 ジベレリンヘー-スト; 20-30mg 果梗部塗布 注) 塗布直前に等量のジベレリンヘー-スト とよく混合し使用する	実 ・ 継	実)[日本ナシ(豊水、あきづき、 二十世紀); 果実肥大促進] ・ 満開30~40日後 1回 KUH-833P + ジベレリンヘー-ス ト; 20~30mg/果+20~30mg/果 果梗部塗布 注) ・ 塗布直前に等量のジベレリン ヘー-ストとよく混合し使用す る ・ 二十世紀にはコールド二十世 紀、おき二十世紀を含む 継) ・ 効果、薬害の確認(幸水)
	日本ナシ (豊水)	適用性 継続	新潟農総研園研 栃木農試 (2) 果樹研究所(自主) 鳥取大学(自主) (2)	[果実肥大促進] ・ 満開30~40日後 KUH-833P + ジベレリンヘー-スト; 20-30mg+20-30mg 果梗部塗布 対照区) 満開30~40日後 ジベレリンヘー-スト; 20-30mg 果梗部塗布 注) 塗布直前に等量のジベレリンヘー-スト とよく混合し使用する		
	日本ナシ (二十 世紀)	適用性 継続	長野南信農試 (1)	[果実肥大促進] ・ 満開30~40日後 KUH-833P + ジベレリンヘー-スト; 20-30mg+20-30mg 果梗部塗布 対照区) 満開30~40日後 ジベレリンヘー-スト; 20-30mg 果梗部塗布 注) 塗布直前に等量のジベレリンヘー-スト とよく混合し使用する		
	日本ナシ (あき づき)	適用性 自主	鳥取大学 佐賀果試 (幸水、あきづき) (2)	[果実肥大促進] ・ 満開30~40日後 KUH-833P + ジベレリンヘー-スト; 40-60mg+40-60mg 果梗部塗布 対照区) 満開30~40日後 ジベレリンヘー-スト; 40-60mg 果梗部塗布 注) 塗布直前に等量のジベレリンヘー-スト とよく混合し使用する		

B. 生育調節剤

注) アグアライは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
KUH-833P [®] + ジ [®] ベ レリン [®] - スト つづき	日本ナ (おさ コー ト)	適用性 自主	鳥取大学 (1)	[果実肥大促進] ・満開30～40日後 KUH-833P + ジ [®] ベレリン [®] - スト ; 40-60mg+40-60mg 果梗部塗布 対照区) 満開30～40日後 ジ [®] ベレリン [®] - スト ; 40-60mg 果梗部塗布 注) 塗布直前に等量のジ [®] ベレリン [®] - スト とよく混合し使用する	—	
	日本ナ (コー ト二十 世紀)	適用性 自主	鳥取園試 (1)	[果実肥大促進] ・満開30～40日後 KUH-833P + ジ [®] ベレリン [®] - スト ; 40-60mg+40-60mg 果梗部塗布 対照区) 満開30～40日後 ジ [®] ベレリン [®] - スト ; 40-60mg 果梗部塗布 注) 塗布直前に等量のジ [®] ベレリン [®] - スト とよく混合し使用する		
6. RIC-1液および粒 Eclonia Maximaの 海藻絨シートをセ [®] オ ライトに25%含浸させ た物。 [ロイヤル インダストリーズ]	オトリ	作用性 継続	山形農総研園試 (佐藤錦) (1)	[増糖・着色促進] ・3月中にRIC-1粒を500g/1樹→5～6 月にRIC-1液(3000倍希釈)を3回 ・土壌処理	—	(作用性)
7. RIC-S水溶 セ [®] オライト:72%、 フ [®] ト [®] 糖:16.4%、 窒素全量:0.8%、 水溶性リン酸:1.2%、 水溶性加里:0.2%、 水溶性苦土:1.3%、 水溶性鉄:0.1% [ロイヤル インダストリーズ]	オトリ	作用性 継続	山形農総研園試 (佐藤錦) (1)	[凍霜害軽減] ①開花10日前(1回) ・41.5, 83倍希釈(十分量) ②開花10日前および開花5日前 (2回) ・83倍希釈(十分量) ・立木全面散布 ・展着剤加用(ハ [®] ラフィン系) 1000倍希釈	—	(作用性)
8. ジ [®] ベレリン水溶 ジ [®] ベレリン:3.1% [日本ジ [®] ベレリン研究 会]	フ [®] ト [®] ウ (巨峰)	適用性 継続	千葉大園芸 山梨果試 長野果試 愛知農総試園研 香川農試府中 (5)	[果粒肥大促進] ①満開10日後 ・12.5, 25ppm ②満開20日後 ・12.5, 25ppm ・果房浸漬処理	実・ 継	実) [フ [®] ト [®] ウ(巨峰、ルビ [®] -ロマン・ 有核栽培); 果粒肥大促 進] ・結実確認後、満開10～20日 後 1回 ・25ppm ・果房浸漬 継) ・12.5ppmでの効果、薬害の 確認 ・満開10日後処理での無核果 実の混入について ・年次変動の確認(ルビ [®] -ロマン)
	フ [®] ト [®] ウ (ルビ [®] - ロマン)	適用性 自主 (H18, 19, 21)	石川砂丘地 (3)	[果粒肥大促進] ・満開後10～20日 1回 ・12.5, 25ppm ・果房散布または浸漬		
	フ [®] ト [®] ウ (ハニ [®] - ビ [®] -ナス)	適用性 自主	宮崎総農試 (1)	[果粒肥大促進] ①満開10日後 ・12.5, 25ppm ②満開20日後 ・12.5, 25ppm ・果房浸漬処理	継	継) ・効果、薬害の確認

B. 生育調節剤

注) アダプティは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
ジベレリン水溶 つづき [委託者]	ブドウ (ふくしずく)	適用性 自主	福島県試 (1)	[果粒肥大促進] ① 満開期 1回 ・ 50, 100ppm ② 満開5日後 1回 ・ 50, 100ppm ③ 満開7日後 1回 ・ 50, 100ppm ・ 果房散布または浸漬	実	実) [ブドウ(ふくしずく)]; 果粒肥大促進 ・ 満開時〜7日後 1回 1回 ・ 50〜100ppm ・ 花房または果房浸漬
	ブドウ (サニール ジュ)	適用性 自主	石川砂丘地 (1)	[着粒密度低減] ① 満開15日前→満開10日後 25ppm+KT-30S (ホルクロルフェニロン) 3ppm→ 25ppm 花房浸漬→果房浸漬 ② 満開9日前→満開10日後 25ppm+KT-30S (ホルクロルフェニロン) 3ppm→ 25ppm 花房浸漬→果房浸漬 対照区) ・ 満開時→満開10日後 25ppm+KT-30S (ホルクロルフェニロン) 3ppm→ 25ppm 花房浸漬→果房浸漬	実	実) [ブドウ(サニールジュ)]; 着粒密度低減 ・ 満開14〜20日前 →満開10〜15日後 ・ 25ppm+KT-30S液 (ホルクロルフェニロン液) 3ppm →25ppm ・ 花房浸漬→果房浸漬
	ブドウ (シャイン マスカット)	適用性 自主	山形農総研園研 山梨果試(3) (H19, 20, 21) 長野果試(2) (H19, 21) 愛知農総試園研(2) (H20, 21) 鳥取園試 島根農技 香川農試府中 福岡農総試 (12)	[無種子化、果粒肥大促進] ・ 満開3〜5日後(落花期) ・ 25ppm+KT-30S (ホルクロルフェニロン) 10ppm ・ 果房浸漬 対照区) ・ 慣行	実	実) [ブドウ(シャインマスカット)]; 無種子化、果粒肥大促進 ・ 満開3〜5日後(落花期) 1回 ・ 25ppm+KT-30S (ホルクロルフェニロン) 10ppm ・ 果房浸漬
	かき (甘秋)	適用性 継続	奈良果樹振興 (1)	[落果防止] ・ 満開10日後 ・ 50, 100, 200ppm ・ 幼果およびへたに散布	実・ 継	実) [かき(富有、早秋)]; 落果防止 ・ 満開10日後 ・ 50〜200ppm(十分量) ・ 幼果およびへたに散布 [かき(太秋、新秋)]; 落果防止 ・ 満開10日後 ・ 200ppm(十分量) ・ 幼果およびへたに散布 継) ・ 効果、薬害の確認(甘秋) ・ 50ppmでの効果の確認 (太秋、新秋)
	かき (新秋)	適用性 継続	岐阜農技 奈良果樹振興 (2)	[落果防止] ・ 満開10日後 ・ 50, 100, 200ppm ・ 幼果およびへたに散布		
	かき (早秋)	適用性 継続	愛知農総試園研 奈良果樹振興 (2)	[落果防止] ・ 満開10日後 ・ 50, 100, 200ppm ・ 幼果およびへたに散布		
	かき (太秋)	適用性 継続	岐阜農技 宮崎総農試 (2)	[落果防止] ・ 満開10日後 ・ 50, 100, 200ppm ・ 幼果およびへたに散布		
	かき (富有)	適用性 継続	愛知農総試園研 岐阜農技 徳島果樹県北 香川農試府中 (4)	[落果防止] ・ 満開10日後 ・ 50, 100, 200ppm ・ 幼果およびへたに散布		

B. 生育調節剤

注)アウターは新たに判定された部分

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容
9. ジベレリンペースト ジベレリン:2.7% [協和発酵ハイパ]	日本ナシ	適用性 継続	秋田県試天王 (自主; 幸水、あきづき) 栃木農試 (なつしずく、幸水、 あきづき、きらり) 埼玉農総研 (幸水、豊水、秋麗、 彩玉) (3)	[新梢伸長促進] ①満開10日前 ②満開期 ③満開7~14日後 ④満開30~40日後 ・100mg/枝 ・新梢基部塗布 (主枝、亜主枝などの先端、 長果枝、接ぎ木、陰芽など)	実・ 継	実) [日本ナシ: 新梢伸長促進] ・満開10日前~40日後 ・100mg/枝 ・全花除去した短果枝の基部 または、その他新梢の基部 に塗布 継) ・年次変動の確認

新登場!!

ホクコー

エーワン

1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ

雑草を白く枯らす!

ノビエを長く抑える!

2成分で雑草撃退!



水稲用一発処理除草剤

強力な2つの成分

新規成分
雑草を白く枯らす

テフリルドリオン
(AVH-301P)

ノビエを長く抑える

オキサジクロメホン
(J-4718)

SU抵抗性雑草・特殊雑草に高い効果!







取扱
全農
製造

北興化学工業株式会社

高橋登録 第4702318号

エーワンは北興化学工業(株)の登録商標